

R 8 夏季休業前 終業の会 挨拶 R8. 7. 17(金)

皆さん、こんにちは。

令和 8 年度が始まって早くも 4 か月が過ぎようとしています。

特に 3 年生の皆さんは、進路実現に向けた大切な時期です。約 250 日後には、多くの人が新たな場所で新しい生活を始めていることでしょう。時の流れは本当に早いものです。一日一日を大切にし、充実した日々を送ってください。

また、1・2 年生の皆さんも、1 年後、2 年後には 3 年生と同じ立場になります。その時を見据えながら、今の生活を大切にしてほしいと思います。

さて、今年度の初めに「前へ」という話をしましたが、覚えていますか。

私は日々皆さんの様子を見ていますが、誰もが少しずつ「前へ」と進んでいるように感じています。

先日、ある本を読んでいて、改めて「じりつ」について考える機会がありました。そこで AI に「自立とは何ですか」と尋ねてみると、「誰かから離れることではなく、自分の選択に責任を持ち、自分の人生を自分で動かしていくこと」

という答えが返ってきました。

人生には大きな岐路があります。最初の大きな選択の一つが高校受験です。そして高校卒業後の進路、さらに大人になれば仕事や家庭など、さまざまな場面で自ら選択し、その結果に責任を持つことが求められます。

親に言われたから、先生に勧められたから、友達がそう言ったから。そんな理由で選択し、後になって言い訳をするのではなく、自分の意志で考え、決断することが大切なのです。

そこで今日は、別の視点から「じりつ」について考えてみたいと思います。

「じりつ」を漢字で表すと、多くの人はず「自立」を思い浮かべるでしょう。しかし、実は他にも「じりつ」と読む言葉があります。全部で四つありますが、思い浮かびますか。

おそらく一つは思い付いたのではないのでしょうか。

では、その四つの「じりつ」をつながけながらお話しします。

○高校生活は、少しずつ自分の力で歩み始める「自立」の時期です。

○そして、自由な時間が増える夏休みは、自分を律して行動する「自律」の力が試される時期でもあります。

○そうした経験の積み重ねは、論語の「三十にして立つ」に由来する「而立」へとつながっていきます。この夏の挑戦や努力も、将来の自分を形作る大切な一歩です。

○さらに、先日の野球応援で見られたように、仲間のそばに立ち、支え合う姿は「侍立」の精神そのものです。そこには、土岐商生らしい温かさと強さを感じられました。

自立し、自律し、未来の而立へ向かって歩みながら、時には誰かの侍立となる。

自立し、自律し、未来の而立へ向かって歩みながら、時には誰かの侍立となる。

その積み重ねが、皆さんの人生を豊かにしていきます。

どうか、この夏休みは「じりつ」を意識して過ごしてください。

引き続き、大いに学び、考え、そして楽しみましょう。そして、「前へ」進もう。